福山大学　教務委員会　2020年度 自己点検・評価書

基準1.　理念・目的

領域：　使命・目的、教育目的

2020年度　　教務委員会

中長期計画	教務委員会の目的に則って学内の教務に関わる業務を統括し、本学の教育の向上と、教育活動の円滑な運営を目指す。 教務組織体制と教務システムの改善を図る。(小目標) 本学の教育・研究の推進に寄与し、学修指導体制、修学サポート、学修環境の充実、並びに教務サービスの向上を目指す。(中目標)

2020年度　　教務委員会

中点検項目	1-1. 大学、学部、学科、研究センター及び委員会等は、それぞれの使命・目的及び教育目的を設定していますか。
点検項目	① その意味・内容は具体的かつ明確ですか。
現状説明	本委員会は、その目的を福山大学教務委員会細則第2条(目的)に「委員会は，本学の教務に関する事項について審議し，本学の教育の向上と，その円滑な運営に資することを目的とする。」と、具体的かつ明確に設定している。
年度目標	現状を維持
年度報告	福山大学評議会規則の教務に係る部分を改正することになり、それと連動する規定として福山大学教務委員会細則についても評議会規則の改正内容に沿った改正を行った。改正後の教務委員会細則第2条（目的）に関する文言は以下のとおりである。 「委員会は，全学の教務に係る事項について審議し，本学の教育の向上と，その円滑な運営に資することを目的とする。」
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①令和2(2020)年度臨時教務委員会議事要旨 ②福山大学教務委員会細則
点検項目	② 個性・特色を明示していますか。
現状説明	本委員会は、本学の教学マネジメントの中で果たすべき役割を福山大学教務委員会細則の第3条（協議事項）に以下のように明示している。 「第3条　委員会は，前条の目的を達するため，次の事項について審議する。」 一　カリキュラムに関すること 二　当該科目とその配置に関すること 三　開講科目に関すること 四　学科目担当教員充当に関すること 五　学科履修及び学科成績考査に関すること 六　その他教務に関する必要な事項
年度目標	現状を維持
年度報告	前項（1-1-②）と同じ理由により、福山大学教務委員会細則第3条（協議事項）を以下のように改正した。 「第3条 委員会は，前条の目的を達成するため，次の事項について審議する。」 一 教育課程の編成，点検，評価，改善等に関すること 二 教務に係る全学的な取組の実施に関すること 三 教務に係る各学部間の連絡調整に関すること 四 専門教育と共通教育の連携に関すること 五 教務に係るIR情報の蓄積とその利用に関すること 六 その他教務に関する必要な事項
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①令和2(2020)年度臨時教務委員会議事要旨 ②福山大学教務委員会細則
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 社会の要請や背景の変化について検討していますか。
現状説明	本委員会は、本学の教育の向上を目指す中で、社会の要請や背景の変化、特に大学教育改革に関わる文部科学省や中央教育審議会からのガイドライン・指示・調査、あるいは地域社会等からの要請について、大学教育センターと連携しながら検討している。
年度目標	現状を維持

年度報告	令和2年1月22日に中央教育審議会大学分科会が示した「教学マネジメント指針」で求められている、全学的かつ学部横断的な教学マネジメント体制を構築し、各学部等の取組について3つのポリシーを踏まえた適切性にかかる点検・評価を行う体制を本学が構築していることが福山大学評議会規則ならびに教務委員会細則から読み取れるように、1-1②と③に示すように教務委員会細則を改正した。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①令和2(2020)年度臨時教務委員会議事要旨 ②福山大学教務委員会細則 ③福山大学評議会規則
次年度の課題と改善の方策	

2020年度　　教務委員会

中点検項目	**1-2. 使命・目的及び教育目的の反映**
点検項目	**① 使命・目的及び教育目的に対し、教職員の理解と支持は得られていますか。**
現状説明	本委員会は、学内の各部局が選出した委員によって構成していること、1-1-①で述べた目的に沿って1-1-②で述べた全学的な教務に関する事項を審議していること、及び審議を経て承認した事項のうち重要な内容を含むものはさらに評議会の審議・承認を経て実施していることから、本委員会の使命・目的に対して教職員の理解と支持が得られていると判断している。
年度目標	現状を維持
年度報告	現状を維持した。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①令和2年度教務委員会構成員名簿 ②令和2(2020)年第1回～第12回教務委員会議事要旨
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**② 学内外へ公表し、周知していますか。**
現状説明	本委員会は、その使命・目的を福山大学教務委員会細則に明記しており、この細則を含む例規集を学内の各部局で閲覧可能とすることで学内の教職員に公表・周知している。また、本委員会の使命・目的を、それらに関する記述を含む福山大学自己点検・評価書を本学ホームページに掲載することを通じて学外に公表・周知している。
年度目標	現状を維持
年度報告	現状を維持した。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①令和2(2020)年度福山大学自己点検・評価書
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**③ 中長期的計画に反映していますか。**
現状説明	本委員会は、その使命・目的を具体的な形で中長期計画に反映している。
年度目標	現状を維持
年度報告	現状を維持した。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①2021年度予算要求書
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**④ 三つのポリシーに反映していますか。**
現状説明	本委員会は、3つのポリシーを有する部局がそのポリシーを変更する場合に、当該部局の使命・目的、及び教育目的をそれらのポリシーに反映しているかどうかを点検している。
年度目標	現状を維持
年度報告	経済学部3学科から提出されたディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーの改訂を含むカリキュラム変更案を教務委員会において審議のうえ承認した。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①令和2年度第7回教務委員会議事要旨
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**⑤ 教育研究組織の構成との整合性は取れていますか。**

現状説明	本委員会は、カリキュラムを有する各部局から委員として選出された教員と学務部長を構成員として含んでおり、本委員会の目的と整合性が取れている。 学務部教務課組織については、本学の教育課程全般の運用に関わる業務の量と質に対して人的資源が圧倒的に乏しいため、「教育の円滑な運営に資する」という本委員会の目的とは整合性が充分には取れていない状況にある。
年度目標	学務部教務課における人的資源の確保に努力する。
年度報告	今年度は、前年度に比べ教務課の職員数が1減となった。
達成度	B
改善課題	教務課の業務の量に対して職員数が充分ではない状況が続いている。
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	引き続き、学務部教務課における人的資源の充実に向けて努力する。

2020年度　　教務委員会

基準2.　学生

領域：　学生の受入れ、学生の支援、学修環境、学生の意見等への対応

2020年度　　教務委員会

中長期計画	本学の学生支援ポリシーに基づく学修支援のための学生や教員への教務サービス向上の一環として平成30(2018)年度に学務システムゼルコバを更新した。今後は、ゼルコバに集積したデータを活用することにより、学生の学修指導の一層の充実を図る。 優先度に基づいて、ゼルコバのカスタマイズを段階的に進めていく。(小目標) ゼルコバのデータに基づいて留年者、休学者、退学者の状況をデータベース化して把握・分析し、それらの減少に役立てる。(中目標)

2020年度　　教務委員会

中点検項目	2-1. 学生の受入れ
点検項目	① 教育目的を踏まえたアドミッション・ポリシーの策定と学内外への周知を行っていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② アドミッション・ポリシーに沿った学生を受け入れていることを検証し、学生受入れの改善に生かしていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	❸ 入学生受入れ状況を昨年度及び今年度について検証し、その増減の原因を分析していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	❹ 入学定員に沿った適切な学生受入数を維持できていますか。できていない場合、どのような対策を実施していますか。

現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	

2020年度　　教務委員会

中点検項目	**2-2. 学修支援**
点検項目	**① 学修体制の整備のため、どのような教員と職員等の間でどのような協働をしていますか。また、それを学内外に公表し周知していますか。**
現状説明	本委員会では、学務部長が教員と共に委員を務め、大学の諸規則や教務事務システムの観点から積極的に発言を行っている。また、教務委員会の庶務は教務課が担当しており、本委員会の幹事である教務課長が必要に応じて委員会の場で補足説明等を行っている。 本委員会は、毎回の委員会の議事要旨を各委員に配付しており、各委員はそれらを所属の部局内で共有することで委員会の議題の審議内容と報告事項の内容を所属教員に周知している。一方、議事要旨の学外への公表は個人情報が含まれる場合があるため行っていない。
年度目標	現状を維持
年度報告	現状を維持した。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①令和2年度第1回～第12回教務委員会議事要旨
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**② 学修支援の充実のために、TA(Teaching Assistant)等を有効に活用していますか。**
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	

2020年度　　教務委員会

中点検項目	**2-3. キャリア支援**
点検項目	**① 教育課程内外を通じて社会的・職業的自立に関するキャリア形成支援体制を整備していますか。**
現状説明	本委員会の委員である委員長、副委員長1名、学務部長、並びに幹事である教務課長が大学教育センター運営委員会の委員を兼ねており、同運営委員会を通じて、同じく委員長が同運営委員会の委員を兼ねているキャリア形成支援委員会、教職課程委員会、学芸員養成課程委員会等のキャリア形成支援に関わる委員会と連携している。 本委員会は各学部・センターの3つのポリシーやキャリア形成支援関連科目を含むカリキュラムの点検・評価を通じてキャリア形成支援の一端を担っている。
年度目標	現状を維持
年度報告	現状を維持した。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①大学教育センター運営委員会委員名簿 ②令和2(2020)年第1回～第12回教務委員会議事要旨
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**❷ 卒業生の進路に関する過去3年間にわたる資料を収集し、検証していますか。**
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	

根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**❸ 資格取得やインターンシップを支援する体制を整備していますか。**
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**❹ 就職指導を適切に行い、就職の質及び内定率の向上に取組んでいますか。**
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	

2020年度　　教務委員会

中点検項目	**2-4. 学生サービス**
点検項目	**❶ 学生生活の継続のための経済的支援は実施されていますか。**
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**❷ 種々のハラスメントの発生防止に取組んでいますか。**
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**❸ 課外活動(サークル活動、留学等の国際交流、社会貢献活動を含む)の活性化のために、どのような取組みを行っていますか。**
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	

2020年度　　教務委員会

中点検項目	**2-5. 学修環境の整備**
点検項目	**① 校地、校舎等の学修環境の整備と適切な運営・管理をどのように実施しています**
現状説明	教務課が、本学の教室設備の運営・管理を担当している。
年度目標	現状を維持

年度報告	今年度はコロナ禍により前後期ともに遠隔授業と対面授業を並行して実施し、対面授業の実施にあたっては教室の収容人数を見直して通常よりも広く間隔を空けて着席位置を設定したことに伴い、教務課と本委員会とで協働して各授業で使用する教室の配分を見直す作業を実施した。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①令和2年度第3回及び第6回教務委員会議事要旨
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**② ICT教室、実習・実験施設、図書館等を活用していますか。**
現状説明	教務課が、ICT関連の1号館ICT教室、LL教室1・2および大学会館CLAFT教室の使用管理を通じてそれらの教室の活用を促している。
年度目標	現状を維持
年度報告	前項(2-5-①)での記載と同様に、今年度は1号館ICT教室及びLL教室1・2についても教室の収容人数を見直して通常よりも広く間隔を空けて着席位置を設定したことに伴い、教務課と本委員会とで協働してこれらの3教室を利用する各授業科目について教室の配分を見直す作業を実施した。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①令和2年度第3回及び第6回教務委員会議事要旨
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**③ 施設・整備のバリアフリー化やアメニティースペースの確保など、学生の利便性を高めるために、どのように取組んでいますか。**
現状説明	本委員会並びに教務課では教室内の利便性の向上に継続的に取り組んでいるが、バリアフリー化の整備は十分ではない。 これまでにバリアフリー化されている教育関連設備として、1号館はスロープ、車椅子用エレベータ、車椅子用トイレを備えており、また同館での1階と2階の小講義室は段差がなく車椅子でも問題なく受講が可能である。
年度目標	引き続き、教室内の利便性について点検し、その向上に取り組む。
年度報告	2021年度予算要求の承認により、全学部で共同利用している教室に設置してあるプロジェクターのうち修理不能となったものについて令和3年度から3年計画で更新していくことになった。また、1号館の教室の汚れたタイルカーペットを、令和3(2021)年度には4教室についてPタイル材に張り替えることになった。 バリアフリー化については、今年度に竣工した未来創造館の3つの講義室のうち2つの講義室に各1箇所、車椅子に対応した机を備えている。
達成度	B
改善課題	教室のバリアフリー化の推進。
根拠資料	①2021年度予算要求書(教務課)
次年度の課題と改善の方策	全学的な施設・設備の更新計画の中で、バリアフリー化を含む教室内の利便性の向上に引き続き取り組んでいく。
点検項目	**④ 授業を行う学生数等を考慮した適切な施設・設備上の管理をしていますか。**
現状説明	本委員会並びに教務課が、各科目の履修学生数の収容を考慮して、各科目で使用する教室の配分管理を行っている。
年度目標	現状を維持
年度報告	2-5-①と②で述べたように、今年度はコロナ禍により前後期ともに遠隔授業と対面授業を並行して実施し、対面授業の実施にあたっては教室の収容定員を見直して通常よりも広く間隔を空けて着席位置を設定したことに伴い、履修学生数が多い科目については内容上どうしても対面での授業が必要な科目を除いて原則遠隔授業とし、対面授業を実施する科目については教務課と本委員会とで連携して各授業で使用する教室の配分を見直す作業を実施した。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①令和2年度第3回及び第6回教務委員会議事要旨
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**❺ 施設・設備の管理において、防災・防火の観点から整備点検を行っていますか。**
現状説明	本委員会の委員である学務部長が防火・防災管理委員会の委員を兼ねており、同委員会で必要に応じて教育関連施設の防火設備の整備や防火・防災対策の査察を行っている。
年度目標	現状を維持

年度報告	現状を維持した。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①福山大学防火・防災管理委員会細則
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**❻ 施設内に保管している劇物・危険物の管理において、安全管理の観点から管理システムを整備していますか。**
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**❼ 学生及び教職員の安全確保のために、各部署に適切な安全管理教育の実施、災害時避難マニュアルの作成及び防災訓練等を実施していますか。**
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	

2020年度　　教務委員会

中点検項目	**2-6. 学生の意見・要望への対応**
点検項目	**① 学修支援に関する学生の意見・要望を把握する体制や、その分析と検討結果を活用する体制を整備していますか。**
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**② 心身に関する健康相談、経済的支援をはじめとする学生生活に関する学生の意見・要望を把握する体制や、その分析と検討結果を活用する体制を整備していますか。**
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**③ 学修環境に関する学生の意見・要望を把握する体制や、その分析と検討結果を活用する体制が整備されていますか。**
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	

2020年度　　教務委員会

基準3.　教育課程

領域：　卒業認定、教育課程、学修成果

2020年度　　教務委員会

中長期計画	各学部学科で定めているディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、それらを基に作成したカリキュラムマップ、及びアセスメント・ポリシーに従い、卒業認定、教育課程、及び学修成果のアセスメントを適切に実施しているかを点検し、本学の教育の改善に繋げていく。 カリキュラムの変更にあたっては、当該学部学科の教育目的、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーとの整合性を点検し、問題があった場合には当該学部学科に対して修正を求める。（小目標） ICTを活用した授業方法の開発推進などにより、継続的な教育改善を行う。（中目標）

2020年度　　教務委員会

中点検項目	3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定
点検項目	① 教育目的を踏まえたディプロマ・ポリシーは、学内外に周知されていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準（ルーブリック等の評価指標を含む）等の策定はどのように行われ、学内外に周知していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等を公表し、厳正に適用されていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	

2020年度　　教務委員会

中点検項目	3-2. 教育課程及び教授方法
点検項目	① カリキュラム・ポリシーを策定し、学内外に周知していますか。
現状説明	各学部学科のカリキュラム・ポリシー(CP)を学生便覧に掲載し、また大学HP上で公開することによって、学内外に周知している。
年度目標	現状を維持
年度報告	現状を維持した。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①学生便覧2020 ②福山大学HP
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② カリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーとの間に一貫性がありますか。

現状説明	本学の教育目的のもとで、各学部・学科はそれぞれの教育目的を掲げてディプロマ・ポリシー(DP)を具体的に策定し、その達成に向けてカリキュラム・ポリシー(CP)を策定して教育課程を編成している。全学部･学科のDP及びCPは、その内容や両者の一貫性についてそれぞれの学部教授会での審議と本委員会での点検を経て評議会で審議し、承認・決定している。CPとDPの一貫性は各学部・学科のカリキュラム・マップ上で確認できる。
年度目標	現状を維持
年度報告	本委員会において、経済学部の3学科から申請があったカリキュラム変更の中で、ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーの変更案についても審議し、その一貫性について点検した。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①令和2年度第7回教務委員会議事要旨
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**③ カリキュラム･ポリシーに沿った教育課程を体系的に編成していますか。**
現状説明	本学の学士課程のカリキュラムは全学共通教育科目と専門教育科目とで構成しており、各学部・学科の専門教育科目は、本委員会において全学共通教育科目との連携を図りながら、それぞれのカリキュラム・ポリシーに沿って体系的に編成している。 カリキュラムの変更時には、本委員会において変更点がカリキュラム・ポリシーに沿っているかどうかを点検した上で、変更を承認している。
年度目標	現状を維持
年度報告	本委員会において、経済学部の3学科から申請があったカリキュラム変更案を審議した中で、変更後のカリキュラムが同じく変更を行うカリキュラム・ポリシーに沿っているかどうかを点検した上で変更を承認した。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①令和2年度第7回教務委員会議事要旨
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**④ 教養教育は専門教育とともに十分に実施されていますか。**
現状説明	本学では、教養教育を主に全学共通教育科目の中で実施している。全学共通教育科目は150科目近く開講しており、十分に実施されていると言える。
年度目標	現状を維持
年度報告	現状を維持した。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①学生便覧2020
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**⑤ 教授方法を工夫･開発(ICTの活用を含む)し、効果的に実施していますか。**
現状説明	本学では、大学全体の教育改革を進めるための組織として大学教育センターを置き、同センターの運営委員を本委員長の委員である委員長、副委員長1名、学務部長、並びに幹事である教務課長が務めている。同センターの教育開発部門では前期と後期に学生による授業評価アンケートを全学的に実施して授業方法の改善に活かしているとともに、教育改革シンポジウムをはじめとする教育関連のFD活動を実施して授業方法の改善を促している。また本学ではアクティブ・ラーニングやICTの活用を積極的に進める手立てとして教育振興助成金制度を導入し、より効果的な授業方法の開発を促している。
年度目標	現状を維持
年度報告	現状を維持した。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①福山大学大学教育センター運営委員会委員名簿 ②令和2年度教育振興助成金実績報告書
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**⑥ディプロマ･ポリシーと卒業判定の整合性を考えていますか。**

現状説明	各学部・学科は卒業時までに修得しておくべき資質(大目標)としてディプロマ・ポリシー(DP)を定めている。また、DPと一貫性のあるカリキュラム・ポリシー(CP)に基づいて科目を各年次に配置しており、その配置を示した各学科のカリキュラムマップの中に年次毎に修得しておくべき資質(中目標)を大目標と共に明記している。各学部・学科は、これらを踏まえて進級及び卒業に必要な単位数を設定し、所定の単位を修得することでDPを達成したと判断していることから、DPと卒業判定の整合性はとれていると判断できる。また、各学科のアセスメント・ポリシーに基づいて、各年次の終了時、ならびに卒業時に、資質の修得状況をレーダーチャートで見える化し、学生に配布している。
年度目標	現状を維持
年度報告	現状を維持した。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①各学科のカリキュラムマップ
次年度の課題と改善の方策	

2020年度 教務委員会

中点検項目	**3-3. 学修成果の点検・評価**
点検項目	**① 全学及び各学科等のアセスメント・ポリシーの活用も含め、三つのポリシーを踏まえた学修成果の点検・評価方法の確立とその運用をどのように検証していますか。**
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**② 教育内容・方法及び学修指導等の改善へ向けての学修成果の点検・評価結果のフィードバックは、どのように実施されていますか。学修成果の点検・評価結果を教育内容・方法及び学修指導等の改善につなげていますか。**
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	

2020年度 教務委員会

基準4. 教員・職員

領域: 教学マネジメント、教員・職員配置、研修、研究支援

2020年度 教務委員会

中長期計画	全学共通教育科目と各学部学科の専門教育科目を統括して取り扱い、全学的な教学マネジメントの円滑な遂行において中心的な役割を果たす。 学務担当副学長並びに担当学長補佐との連絡を密に取りながら教務委員会を運営することにより、全学的な教学マネジメントの円滑な遂行を図る。(小目標) 教務委員会の活動を通じて、教職員が全学的な教学マネジメントを十分に理解し、協働意識で教務に関する用務に取り組むことができるように努力していく。(中目標)

2020年度 教務委員会

中点検項目	**4-1. 教学マネジメントの機能性**
点検項目	**① 大学の意思決定と教学マネジメントにおける学長の適切なリーダーシップが確立され、それが発揮されていますか。当該部署の長は当該部署の教学マネージメントにおいて適切にリーダーシップを発揮していますか。**

現状説明	本委員会では、1-1-①に示した目的に基づき、1-1-②に示した教務に関する事項を審議している。会議(教務委員会)では、教務委員長が議長を務め、本学の教務に関するマネジメントを円滑に進める責を負っている。また、本委員会は学務部教務課と連携しており、同課では本委員会委員である学務部長と幹事である教務課長が教務に関する事務業務を統括して円滑な運営を行っている。本委員会で議決された重要事項については、さらに評議会で審議・承認している。評議会での承認事項は学長のリーダーシップのもとで実施している。以上のことから、本委員会並びに教務課では、教学マネジメントにおいて学長の適切なリーダーシップのもと、部局の長が適切にリーダーシップを発揮しているといえる。
年度目標	現状を維持
年度報告	現状を維持した。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①令和2年度第1回～第12回教務委員会議事要旨
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**② 当該部署では、教職員間で権限・役割を適切に分散し、かつそれぞれの責任を明確化した教学マネジメントを実施していますか。**
現状説明	本委員会は、福山大学教務委員会細則第5条(構成員)に示すように各学部及び大学教育センターから選出された教員と学務部長とで構成している。委員会の庶務は学務部教務課で行っており、教務課長が本委員会の幹事を務めている。委員長は副委員長(教員2名)のサポートのもと、4-1-①で述べたように本学の教務に関するマネジメントを円滑に進める責を負っている。また各学部学科及び大学教育センターから委員として参加している教員は、所属の各学部学科あるいは大学教育センターに本委員会での承認事項を伝え、学生の教育に関わる内容を実行することについての責を負っており、学務部教務課職員は、本委員会の委員である学務部長のリーダーシップのもと、本委員会での承認事項のうち事務的な内容を担当している。以上のことから、本委員会では教職員間で権限・役割が分散し、それぞれの責任を明確化した教学マネジメントを実施しているといえる。
年度目標	現状を維持
年度報告	現状を維持した。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①福山大学教務委員会委員名簿
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**③ 職員の配置と役割の明確化などにより、教学マネージメントの機能性を高めていますか。**
現状説明	学務部教務課では、職員の配置と役割を明確にして事務業務の効率化を図っているが、本学の教育課程全般の運用に関わる業務の量と質に対して人的資源が圧倒的に乏しい状況が依然として続いている。従って、教務課では現状で行っている教学マネジメントに関わる業務を維持するのが精一杯であり、その機能性を高める余裕はない。
年度目標	教学マネジメントの機能を高めるための人的資源の確保に努める。
年度報告	今年度は、前年度に比べ教務課の職員数が1減となった。
達成度	C
改善課題	教務に関わる業務の量と質に見合った職員数の確保。
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	教務課職員の増員について継続的にはたらきかけていく。

2020年度　　教務委員会

中点検項目	**4-2. 教員の配置・職能開発等**
点検項目	**① 当該部署の教育目的及び教育課程に即した資質を有する教員を配置していますか。また、当該部署の適切な運営及び継続性を担保する構成(性別、年齢、職階等)となっていますか。**
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①

次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**❷ 大学設置基準、教職課程等の資格養成機関に求められる教員数を確保していますか。**
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**③ FD(Faculty Development;教育内容・方法等の改善)をはじめとする教員の資質向上に向けた取組みを行っていますか。**
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	

2020年度　　教務委員会

中点検項目	**4-3. 職員の研修**
点検項目	**① SD(Staff Development;教職員の個々の職能開発)をはじめとする大学運営に関わる教職員の資質・能力向上と教職協働への取り組みを実施していますか。**
現状説明	教務課では、教務に関わるSD活動として、教務課長等のリーダー的職員が学外での研修等に参加している。教務の運営に関わる職員の資質・能力向上を目的とした学務部教務課職員全員が参加するようなSD活動はこれまで実施していない。 本委員会では、委員を務める教員と職員が教育改革シンポジウム等の本学で開催するFD・SD研修会に積極的に参加して、教育方法や教職協働の意識の向上に努めている。
年度目標	教務の運営に関わる職員の資質・能力向上を目的としたSD活動を検討する。
年度報告	本委員会の構成員と教務課職員が今年度に開催した遠隔授業をテーマとした第7回教育改革シンポジウムに積極的に参加した。 今年度はコロナ禍に対応するために教務上の業務が例年よりも増加したこともあり、年度目標に掲げたようなSD活動は実施できなかった。
達成度	B
改善課題	教務の運営に関わる職員の資質・能力向上を目的としたSD活動の実施。
根拠資料	①第7回大学教育シンポジウム参加者名簿
次年度の課題と改善の方策	コロナ禍の状況にもよるが、次年度以降に教務の運営に関わる職員の資質・能力向上を目的としたSD活動を計画する。
点検項目	**❷ 大学運営の効率改善のために ICTの活用を推進していますか。**
現状説明	本学では学務システムとしてゼルコバを導入しており、学務部教務課では教務に関わる多くの業務をゼルコバ上で行っている。 学務部教務課の他の業務で用いているPC等のICT設備は老朽化している。現状のICT設備では教務業務の効率改善は困難である。
年度目標	ゼルコバのカスタマイズにより学生・教職員の利便性の向上を図る。 学務部教務課内のICT設備を更新する努力を継続する。
年度報告	2021年度予算要求の承認により、ゼルコバの学生カルテの成績情報に科目種別（必修、選択必修、選択）を表記するカスタマイズを行うことになり、今後学生指導の効率が高まることが期待できる。 学務部教務課内のICT設備はほとんど更新していない。
達成度	B
改善課題	学務部教務課内のICT設備の更新。
根拠資料	①2021年度予算要求書(教務課)
次年度の課題と改善の方策	学務部教務課内のICT設備の更新について継続的にはたらきかけていく。

2020年度　　教務委員会

中点検項目	4-4. 研究支援
点検項目	① 研究に専念する時間の確保、研究室の施設設備の整備等の研究環境を適切に管理していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 研究倫理の確立(規則の整備や検査等)と厳正な運用が行われていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 研究活動への資源の配分や運用は適正に行われていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	❹ 公的研究費の運営・管理(ガイドライン等)が整備され、周知されていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	

2020年度 教務委員会

基準6. 内部質保証

領域: 組織体制、自己点検・評価、PDCAサイクル

2020年度 教務委員会

中長期計画	PDCAサイクルを適切に機能させて、本学の教育の質の向上と、教学マネジメントのより円滑な遂行を目指す。 前年度に課題として残った事項に次年度以降に取り組む。(小目標) 上記を繰り返すことにより、学生が学修しやすい環境づくり、学生・教員への教務サービスの向上、並びに業務の効率化を図る。(中目標)

2020年度 教務委員会

中点検項目	6-1. 内部質保証の組織体制
点検項目	① 内部質保証のための組織を整備し、責任体制を確立していますか。

現状説明	本委員会では、福山大学教務委員会自己点検評価委員会細則に基づいて自己点検評価委員会（以下評価委員会という）を置き、本委員会の活動の中長期計画、年度目標及びその達成度の点検評価を行っている。 評価委員会は、教務委員長、教務副委員長、学部代表教務委員、教務課長、教務課長補佐、学務部長、その他委員長が必要と認める者で組織している。評価委員会の委員長は教務委員長が、副委員長は教務副委員長がそれぞれ務める。評価委員長は評価委員会を招集し、その議長となる。評価副委員長は評価委員長を補佐し、評価委員長に事故があるときにその職務を代行する。 以上のことから、本委員会は内部質保証のための組織を整備し、責任体制を確立しているといえる。
年度目標	現状を維持
年度報告	現状を維持した。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①福山大学教務委員会自己点検評価委員会細則
次年度の課題と改善の方策	

2020年度　　教務委員会

中点検項目	6-2. 内部質保証のための自己点検・評価
点検項目	① 内部質保証のための自主的・自律的な自己点検・評価が実施され、その結果を当該部署の教職員が共有していますか。
現状説明	本委員会では、毎年度に自己点検評価委員会において本委員会の当該年度の年度計画の達成度と中長期計画並びに次年度の年度計画をそれぞれ点検評価し、同評価委員会の承認を得たうえで、当該年度の自己点検評価報告書と次年度の自己点検評価計画をそれぞれ本学の評価室に提出している。 提出した自己点検評価報告書と自己点検評価計画については、次年度の教務委員会において資料として各委員に配布し、その内容を説明している。
年度目標	現状を維持
年度報告	現状を維持した。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①令和2年度第1回教務委員会自己点検評価委員会議事要旨 ②令和2年度第12回教務委員会議事要旨
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② IR(Institutional Research)等を活用した十分な調査・データの収集と分析を行っていますか。また、その結果を改善に活かしていますか。
現状説明	教務課では、大学教育センターと協働して、本学各学部学科のアセスメント・ポリシーに基づいて作成した学生の資質修得状況のレーダーチャートを当該学生に配布するとともに、そのデータを収集している。 レーダーチャートのデータは現時点ではまだ3年分しかなく、本委員会では集積したデータの分析をこれまで行っていない。
年度目標	今年度も上記のレーダーチャートを各学生に配布するとともに、そのデータを収集する。
年度報告	レーダーチャートを各学生に配布したとともに、そのデータを収集した。 これまでに集積したレーダーチャートデータの分析は行っていない。
達成度	B
改善課題	収集したレーダーチャートデータの分析。
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	コロナ禍の状況にもよるが、次年度以降にレーダーチャートデータの分析を計画する。

2020年度　　教務委員会

中点検項目	6-3. 内部質保証の機能性
点検項目	① 内部質保証のための学部、学科、研究科等と大学全体のPDCAサイクルの仕組み(システム)をどのように確立し、その機能性を検証していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①

次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**❷ 教職員のコンプライアンスを確立するための体制を整備していますか。**
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	

2020年度 教務委員会

基準7. 福山大学ブランディング戦略

領域: 「福山大学ブランディング戦略」の点検・評価 （本学独自基準）

2020年度 教務委員会

中長期計画	

2020年度 教務委員会

中点検項目	**7-1. 福山大学ブランディング戦略の推進**
点検項目	**❶ 福山大学ブランディング戦略（ver. 2018）の概略について当該部署の学生及び教職員への周知を進めていますか。**
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**❷ 福山大学はブランディングを「広告ではなく、社会に貢献する観点から他にはない固有の魅力を引き出して他との区別化を図り、社会から選ばれること」と捉えています。この観点からブランディングにどのように取組んでいますか。**
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**❸ 福山大学ブランディング戦略では「備後地域の産学官民連携を推進し、地域の教育資源を最大限に活用して人間性を高め、地域を愛し、地域で活躍し、地域から国際社会につながる『未来創造人』を育成すること」を方針としています。当該部署は、この方針の実現にどのように取組んでいますか。**
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**❹ 福山大学ブランディング戦略では、福山大学が備後地域の知の拠点として地域と共に育ち、地域創生に貢献することを目標としています。この目標の実現に向けて、どのような取組をし、その成果をどのように検証していますか。**
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	

改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**❺ 福山大学ブランディング戦略では、建学の理念に基づき、「地域の中核となる幅広い職業人」を、育成する人材像としています。そのために、どのような取組をし、その成果をどのように検証していますか。**
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**❻ 福山大学ブランディング戦略が掲げる「備後地域との密な連携のもとに進める教育研究」としてどのような取組をし、その成果をどのように検証していますか。**
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**❼ 福山大学ブランディング戦略が掲げる「学問にのみ偏重しない全人教育」としてどのような取組をし、その成果をどのように検証していますか。**
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**❽ 福山ブランディング戦略は、これからも進化させて、さらに発展させることが必要です。ブランディング戦略のブラッシュアップにどのように取組んでいますか。**
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	

2020年度　　教務委員会

中点検項目	**7-2. 福山大学ブランディング推進のための研究プロジェクト**
点検項目	**❶ 当該部署では全学的に展開しているプロジェクト研究の「瀬戸内の里山・里海学」にどのように取組んでいますか。**
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**❷ 福山大学ブランディング研究に必要な内部資金及び外部資金をどのように獲得していますか。**

現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	**❸ 福山大学ブランディング研究の成果をどのように社会に発表していますか。**
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	①
次年度の課題と改善の方策	